※令和４年度以降入学生用

学校番号	3020

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	ＮＥＸＴ　数学Ⅰ（数研出版）						
副教材等	CONNECT　数学Ⅰ＋A（数研出版）　パラレルノート　数学Ⅰ＋A（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働する活動を行います。
・授業用ノートのほかに問題集用のノートを用意してください。
・問題を解く際、ただ単に答えを書くだけではなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。
　また、各自で答え合わせまで完了しておいてください。
・課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめず、主体的に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式、２次関数、図形と計量及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けている。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について分析、判断する力を身に付けている。	数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養われている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	「数と式」	「数と式」 ・整式の加法と減法 ・整式の乗法 ・因数分解 ・実数 ・根号を含む式の計算	ａ：文字に着目することや置き換えることの有用性を理解している。 ｂ：式の整理方法、展開や因数分解の公式を理解し、活用できる。 ｃ：具体的な事象の考察に式の展開や因数分解を活用しようとする。	確認テスト ワークシート 中間考査	問題集 ワークシート 探究活動 中間考査	ワークシート 問題集 探究活動 観察
	「数と式」・「２次関数」	「数と式」 ・不等式の性質 ・１次不等式 「２次関数」 ・関数とグラフ ・２次関数のグラフ	ａ：簡単な無理数の四則計算ができる。数量の関係を数直線上に表現できる。２次関数式をグラフで表現できる。 ｂ：数量や事象について不等式や２次関数式で表現できる。 ｃ：数の広がりや２次関数グラフのなりたちに関心を持ち、事象の考察に活用しようとする。	確認テスト ワークシート 期末考査	問題集 ワークシート 探究活動 期末考査	ワークシート 問題集 探究活動 観察
2学期	「２次関数」	「２次関数」 ・２次関数の最大・最小 ・２次関数の決定 ・２次方程式 ・２次関数のグラフとｘ軸の位置関係 ・２次不等式	ａ：与えられた条件から関数式や位置関係が求められる。 ｂ：２次関数グラフを基に、方程式解や不等式解を判別できる。 ｃ：２次関数の値の変化に関心をもち、最大値や最小値を活用できる。	確認テスト ワークシート 中間考査	問題集 ワークシート 探究活動 中間考査	ワークシート 問題集 探究活動 観察
	「図形と計量」	「図形と計量」 ・三角比 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張 ・正弦定理 ・余弦定理 ・正弦定理と余弦定理の応用 ・三角形の面積 ・空間図形への応用	ａ：三角比の相互関係、拡張された三角比を理解している。 ｂ：定理を理解・活用し、三角形や四角形の角や長さを求めることができる。 ｃ：三角比に関心をもち、計量に活用しようとする。	確認テスト ワークシート 期末考査	問題集 ワークシート 探究活動 期末考査	ワークシート 問題集 探究活動 観察

※令和４年度以降入学生用

３学期	「データの分析」	「データの分析」 ・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばりと四分位数 ・分散と標準偏差 ・データの相関	ａ：四分位数や分散等を調べて、データの散らばり具合を認識できる。 ｂ：散布図や相関係数からデータの傾向を捉え、的確に表現することができる。 ｃ：データの分析に関心をもち、事象の考察に活用しようとする。	確認テスト ワークシート 中間考査	問題集 ワークシート 探究活動 中間考査	ワークシート 問題集 探究活動 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度